

令和6年度第2回小田原市学校給食費検討委員会 議事録

- 1 日 時 令和6年11月20日（水） 午後3時15分から午後3時45分まで
- 2 場 所 小田原市役所 3階 議会全員協議会室
- 3 出席委員 中村 眞樹子、長倉 芳則、石井 裕樹、井上 智子、磯辺 和彦、
井島 一吉、清水 啓子、植村 智子
- 4 事務局 教育部長、教育部副部長、保健給食課長、保健給食課職員5人
- 5 傍聴者 1名

（次 第）

1 開 会

2 議 事

（1）学校給食費の在り方について

ア 学校給食摂取基準に即した本市の標準献立と適切な1食単価について

イ その他学校給食に関し必要な事項について

（2）答申について

（3）その他

3 閉 会

6 議事概要

1 開会

【進行：井上委員長】

定刻になりましたので、ただ今から、「令和6年度第2回小田原市学校給食費検討委員会」を始めさせていただきます。

皆様、本日は御多用の中、御出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日は2回目ですけれども、今年度最後の会議となりますので、闊達な御意見等をよろしくお願いします。

なお、本委員会の会議につきましては、委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、委員会規則第4条第2項の定足数に達しております、会議が成立しております。

また、本日の傍聴者は1人いらっしゃいますのでよろしくお願いいたします。

それではここで、本日の資料の確認をさせていただきたいと思います。

本日の配布資料ですが、事前に送付いたしましたとおり資料１、資料２となっております。不足等がございますでしょうか。

(資料一覧に基づき確認)

2 議事（１）学校給食費の在り方について

【進行：井上委員長】

それでは、これから議事に入りたいと思います。

第１回の本委員会において論点ごとに学校給食費検討委員会としてどのようにするのか、審議を行いました。そして、その後、書面での意見もいただいております。

本日に至るまでの委員からの意見については事務局の方に説明をよろしくお願いしたいと思います。

【保健給食課長】

それでは、私の方から御説明をさせていただきます。

お手元の資料２学校給食費検討委員会委員からの意見整理（第１回から会議後の書面意見）を御覧いただきたいと思います。

第１回の会議及び会議終了以降に書面でいただきました委員の皆様からの意見とそれに対する市の考え方につきまして、全２５件を一覧にしたものでございます。

まず、１ページ目のナンバー１から３ページ目のナンバー２０につきましては、第１回の会議での発言を整理したものでございますので、改めての説明は省略をさせていただきます。

３ページを御覧ください。ナンバー２１からの５件が第１回の会議終了以降に書面での意見として委員の皆様よりいただいたものでございます。２１番目につきましては、磯辺委員から「市内産使用率の目標設定が高すぎており、目標値を見直し、段階的に数値を上げていくほうが現実的である」との御意見をいただいております。２２番目につきましては、石井委員からは「献立については同じ献立でも良いのではないかと。大量仕入れがしやすくなることで、単価が抑えられるのでは」との意見を、清水委員からは２３番から２５番目までの３点でございます。「米飯給食の推進については、子供たちのし好が全てではないが、残菜の処理にも費用がかかることから、米飯の回数が増えるのはいかがかと思う」「自校炊飯を進める場合は、ただでさえ給食室の整備が遅れているため、施設設備改修費用を確保していただきたい」「３品献立の推進には施設設備、人員などの課題解決をお願いしたい」との意見をいただきました。

説明は以上でございます。

【進行：井上委員長】

説明が終わりました。いただいた意見に対して市の考え方が示されております。この点も踏まえ、御発言等あればお願いします。

【中村副委員長】

この本件に関わりまして、実は11月7日に小田原市総合教育会議というのがございまして、その会のテーマが学校給食ということでしたので、この当日私も参加させていただきました。曾我小学校で加藤市長それから柳下教育長、教育委員会の皆様が集まる会議だったのですが、曾我小学校は、今回の委員会で検討しています自校炊飯をやっている学校でして、この日も自校炊飯で家庭用の電気炊飯器で炊いた御飯をいただきましたし、他のメニューは豚のしょうが焼きと厚揚げと野菜の味噌汁、牛乳ということだったのですが、これは御配慮いただいたのかもしれませんが、話題にしている3品献立で、お肉の脇にゆでキャベツが添えてあるというような献立でお食事させていただきました。本当に美味しくいただきましたし、子供たちの方が元気と言えば元気なので当然ですが、量としても十分なものいただいてきたかなと思っています。子どもたちの食べる様子も拝見してきましたけども、教室それぞれ人数が少ないこともあって、とても仲間意識みたいのも強いので、子供たちはすごく楽しそうに食べていましたし、回りましたので、「御飯どう。」とか「美味しい。」とか声かけられると、「御飯おかわりしちゃった」とか「なんとかちゃんは前あんまり食べなかったんだけど、この頃頑張ってるよ」ということまで教えてくれたりして、とても気持ちよく皆さん食べていましたし、ランチルームで1年生と6年生が縦割りで一緒に給食を食べるような姿も拝見してきました。子供たち給食とても大事にしてくれていますし、しっかり食べてくれている様子を見てきたところです。

私の方からは、給食の役割ということで、ここでも話し合ってきたことについては、教育委員さんや市長さんの前でお話をさせていただきました。教育委員の皆さんからも、御自身の経験なんかも含めて、子供たちがすごく給食喜んで食べているし、家庭での話題にもなっているというようなところで、やはり大事にしていきたいし、それから、教育というような点でも大事にできたということで、保護者にとっては、小田原で子育てをしてよかったなって思える1つのこと。それから、子供たちには、さまざまな学びから、小田原っていう地域をよく知ったし、またここで育ってきてよかったねと思える1つのきっかけに当然なると思うので、お食事はもちろん、教育の面も含めて、いいものになっていったらいいねっていう意見交換ができたかと思っています。また、こうやって栄養士さん、調理師さんが非常によく頑張ってくれて出してくださっていることも教育委員会の皆様にはお伝えできたと思っていますし、また逆に市の方もこうやって努力してくださっている、特に給食費の補てんがあることについては保護者の皆さんが本当にちゃんと分かっていますかねっていうようなことも話題が出て、やはりこの思いであるとかやっていることをしっかり伝えていかなくちやいけないし、伝わるような状況を持って作っていかなくちやいけないねというようなことも共有できたかと思っています。

流通に携わるような教育委員さんもしらっしゃいましたので、そういったところには協力ができる、ないしは参加できるような方法も考えられたらいいなというようなお話もいただきましたので、携わっている当事者がみんなそれぞれの思いで動いていたらいいねというようなことで話が進んだかと思っています。ここの場合も、給食に携わっている子供たちはいないですけども、さまざまな方たちがさまざまな立場でお越しいただいているわけですので、ここで情報共有がたくさん

できること、こうやってお話ができること、とても有意義なのかなと思っておりますので、私はすごく気持ちよく参加させていただきましたし、やるべきことがあるんだってということよくわかって帰ってきましたので、御報告させていただきます。ありがとうございました。

【進行：井上委員長】

ただいま中村副委員長の方からお話がありました。関連しても構いませんので、皆さんの方から何かございませんか。

ちょっとここで、こちらの資料の2の方の区分の方で、前回の会議でなかなかお話する時間もなかったのかなという風に思うのですが、今まで学校給食費の価格動向等を踏まえて3年を目途に金額の見直しを行っていたということです。現在物価が安定しないような状況下においては、実は半年ごとに物資の選定の会議というものがありまして、半年を目安として子供たちにとっての質と分量、また必要十分な給食が提供できるかを検討していくとともに、昨今急激な物価の状況の変化が激しいというようなこともあるので、もしそのような急激な変化があったときには、早急な対応をしていくことが必要なのではないかなと考えております。

皆様、この辺りについてはいかがでしょうか。そのような形で柔軟にやっていきたいということでもよろしいですか。

（「異議なし」の声あり）

ほかにご意見ございますでしょうか。

（「なし」という声あり）

それでは、いくつかいただいた意見を踏まえて確認いたします。論点ごとの考え方や方向性については、審議会としては適切であろうと思いますが、こちらの方でよろしいということで大丈夫でしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

2 議事（2）答申について

【進行：井上委員長】

それでは議事の（2）の方に移っていききたいと思います。

答申についてです。事務局の方で説明をよろしく願いいたします。

【保健給食課長】

それでは、議題（1）でご確認いただきました内容をもとに答申案を作成させていただきましたので、これから卓上の方に配布をさせていただきますのでしばらくお待ちください。

(各委員の机上、傍聴者に答申案を配布)

ただ今ご確認いただいた資料と、前回の御議論の内容等を元とさせていただきますして、事務局の考え方ということで答申案をお示しさせていただきたいと思います。それではですね、答申案の方を読み上げさせていただきます。

(「資料3」を読み上げ)

以上でございます。

【進行：井上委員長】

説明が終わりました。御質疑等ございますでしょうか。前段の議論を踏まえて修正等があればこの場で御発言をお願いしたいと思います。少し時間を取ります。

(答申案を確認)

保護者の皆様、大丈夫でしょうか。栄養士さん、大丈夫でしょうか。園長校長、大丈夫でしょうか。

(「なし」という声あり)

ありがとうございます。それでは、質疑等もございませんので、本件につきましては事務局からの提案とおりといたしまして、最終の答申書につきましては、委員長、それから副委員長の方に御一任いただくことでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、そのようにさせていただきたいと思いますので、今回の答申につきましては、このあと市長の方に直接手交させていただきたいと思います。市長への答申の手渡しなのですけれども、是非委員の皆様みなで、お渡しできればと思っておりますがいかがですか。

参加できる方、是非よろしくをお願いしたいと思います。

それでは(2)の方につきましては以上といたします。

2 議事(3)その他

最後(3)その他に移りたいと思います。委員の皆様から何かその他でございますでしょうか。せっかくの機会でもありますので、どうでしょうか。

【中村副委員長】

私が考えていることはいろいろあって、学生とは議論できるのですが、他の方と議論するということなこととか意見を交わすということとはなかなかできないものですから、このような場はと

でもありがたかったと思っております。そして、まず学校給食、とても丁寧に対応していただいていることはここで共有できましたし、それから、今後、100パーセント満足できるというわけではないので、どこを取り組んでいくのか、例えば自校炊飯ができたらいいいよねとか、どこが子供たちが喜ぶ献立であり、どこが教育的に必要なのかというようなこともきちんと意見交換できましたので、すごく前向きな話ができたと思っております。今まで以上にこれを皆さんで取り組んでいけたらと思いますし、小田原市総合教育会議でも出ましたように、ここでもいろいろ意見交換ができましたが、なかなか皆さんに伝わっていかないところは一層、私も含めて努力できる場所なのかなと思いましたので、情報をきちんと届けて、そして、考えて、日々子供たちに食事が提供できたらと思った次第です。ありがとうございました。

【長倉委員】

小田原市PTA連絡協議会の小学校保護者代表の長倉と申します。

ありがとうございました。あまり気を使わない率直な意見というところなのですけども、前回の第1回会議の後、保護者間の間で給食費の話をしました。単純に「給食費どう思う。」という話をすると、やっぱりちょっと「今後上がっていくと高いよね。」みたいな話は出ました。先ほど中村先生がおっしゃられたとおりだと思っていて、ちゃんとこういった場に出ていろいろ御事情とか背景を知れば、限られた予算の中で非常に頑張っているということは理解できるんですけども、単純に毎月給食費を払う一般の保護者の方からすると、ちょっとまだまだ高いっていう意見が出ているということは、まだそういった意見が浸透していないのだなということがよくわかりました。なので、今後そういった形で、一般の保護者の方にもこういった取組とか結果というものをもう少し知らせることができるような取組というのがあればいいなと感じました。

以上です。

【石井委員】

中学校保護者代表の石井と申します。

私も前回の会議の後、いろいろな方と給食費のことでお話をしたのですが、高いっていう方もいらっしゃるし、かといってこれで給食がなくなって、お弁当ってされたら厳しいと。やはり給食費に比べて単価は上がってしまうので、給食というものへの取組、いろいろな経費削減とか、そういったところで協議されている内容っていうのをもう少し保護者の方に向けて学校単位で発信していただくような場があったら、もっと理解が得られるのかなっていうのは素直に思いました。

ありがとうございます。

【清水委員】

山王小学校の栄養士の清水です。

私も長年栄養士やっておりますけれども、こういった形の会に参加したのは初めてかなというところで、いろいろとこの会について、分からないことだったり、スケジュール感についてちょっと見えない部分があったりして、こういう会議なんだなっていうのがここでよく分かって、まだよく分かっているとは言えないかもしれないですけども、勉強させていただきました。栄養士代表としてこの場に出させていただいておりますので、この結果の方はまた栄養士の会議の中で伝えていけたらなと思っております。

以上です。

【植村委員】

千代小学校の栄養士の植村です。

今回この会議に出させていただいて、何回か学校給食センターにいたので、何回かこの会議で出たことはあったのですが、こんなに物価が高騰したということは初めてで、こういう大きなとか今まではそれほど大きく消費税が上がったということというものはありましたけども、こんなに物価が高騰したことは初めてだったので、保護者の方への負担とか、市からの支援とかっていうことをまた考えていただいて、安全で安心な給食を子供たちに提供していけたらなと思います。

ありがとうございました。

【井島委員】

いろいろとありがとうございました。お願いになってしまうかもしれませんが、米飯給食を増やすことには全然問題はないと思うのですが、やはり園児を見ているとパンが好きな子とか、ソフト麺、ラーメンとか、そういう麺類が好きな子もいますので、その辺のバランスは上手く取っていただいて、なんでも米飯だということにならないようには気を付けていただきたいという風には園長としては思いますので、よろしくお願いいたします。

【磯辺委員】

中学校代表の橘中学校の校長の磯辺と申します。2回にわたり、どうもありがとうございました。いろいろな話を聞いていて、例えば調理場での栄養士さんの御苦労とか、話を聞いていると、食材のカット1つでもすごく気を使っていたりとか、本当に御苦労があるんだなということを非常に最近感じるようになりました。また、学校の職員もアレルギーとかそういうところに非常に気を使いながらもこうやっているという姿があるんですけども、やはりそういうところが、さっきPTA代表の方もありましたけども、そういう苦労というか気遣いとか配慮とかそういうのが、子供たちもそうですけども、保護者の方々にも伝わるような機会があると、非常に運営とかそういうところでも、予算面もそうだと思いますけど、上手くいくのかなと思いますので、この場でそういうのは、なるかどうかわかんないんですけども、やはりそういうところで、給食が出来る上がるまでの背景みたいなところを伝える場があるといいかなという風に強く感じました。

ありがとうございました。

【井上委員長】

ありがとうございます。私は小学校の方の代表で出ておりますけれども、保護者の方の御理解、それから給食の栄養士さんの工夫というものは、目の当たりにしてきているというところがあります。昨日も「あんかけうどん」が出ますと、子供たちは、「あんかけうどん」というものは、どこの郷土料理なのかなってことを調べて、それで放送で、「東北の方で寒い地域の人が食べているんだよ」なんてことを放送で言ってくれと、「へえ」なんて言って、一口、もう一口こう進むみたいなの、そういう取組もしたりしています。

子供たちが楽しみに、朝会うと、「今日はねなんとかチキンなんだよ」ということを子供が第一声に言ったり、そういうこともありまして、本当に給食を楽しみに学校に来ている子供たちも多いです。

最近、11月15日がかまぼこの日ということで、小田原のかまぼこをたくさん使った、どんぶりのようなものですか、お汁のようなものを食べて、「小田原ってかまぼこが有名なんだ」ってぼそっと言うような子供たちもいました。そんなところで、教育的なところというのも本当に給食には大きいかなと。あまりここで言うことではないかもしれませんが、朝食べてこなかった、夜はあんまり食べられないというようなお子さんも実はいるのかなというところで、給食の役割というのは本当に大きいかなということを改めてこの会議を通して感じさせていただきました。いろいろ御意見をいただいて、本当にありがとうございました。

それでは、議題の方を全て終わりにさせていただければと思います。議事進行にご協力いただき、本当にありがとうございました。

3 閉会

【有泉副部長】

皆様、どうもありがとうございました。それぞれの立場から貴重な御意見をいただきまして、本当に感謝しております。以上を持ちまして日程は全て終了いたしましたので、これを持ちまして令和6年度第2回小田原市学校給食費検討委員会を閉会させていただきます。令和6年度学校給食費検討委員会の運営に多大なる御協力を賜り、誠にありがとうございました。本日も長時間にわたり、御審議いただきありがとうございました。